

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

私費留学奨学生 募集要項

(2023年4月期 春募集)

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- ・ 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

- ・ 応募に必要な書類は当財団のホームページからダウンロードできます。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により選考方法等が変更になることがあります。その場合は当財団のホームページに掲載しますので、確認してください。

<http://www.sisf.or.jp>

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次の学生を対象に私費留学奨学生の春募集を行います。

【募集対象】

- ・ 学部学生（日本の大学に在籍し応募時に2年生以上の者及び編入が決定している者）
- ・ 大学院生（日本の大学院に在籍している者及び入学が決定している者）

【応募資格】

以下の条件をすべて満たしていることが必要です（再応募可）。

1. 日本国籍を有していないこと
2. 応募時に日本に居住していること
3. 在留資格「留学：college student」を有する下記対象国国籍の文部科学省所轄大学に在籍する私費留学生（短期大学生及び研究生を除く）
対象国
バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナム
4. 他の奨学金又はこれに類する金品を受給していないこと（TA/RAの報酬及び貸与奨学金の受給は可）※
5. 学内の特別プログラム等で、用途自由な金銭を受給していないこと ※
6. 日本で就業している親がいないこと
7. 「博士」の学位を取得していないこと
8. 奨学金受給開始後の課程修学期間が1年以上であること
9. 学業・研究に支障のない日本語能力を有すること
10. 異文化交流及び社会貢献に高い関心があること
11. 当財団が主催する交流会に出席できること（年6回、主に東京で開催）
12. 奨学支援期間終了後も当財団の卒業生として積極的に交流する意思があること

※ 応募時に奨学金や学内の特別プログラムで金銭等を受給している場合であっても、当財団の奨学金支給開始時に、受給が終了している場合は応募できます。

【奨学金】

1. 支給額

学部学生	月額	15万円
大学院生	月額	18万円
2. 支給期間 2年間（2023年4月から2025年3月まで）
 - ・ 2年以内に奨学生採用時の課程を修了する場合は課程修了まで支給
 - ・ 卒業までの修学期間が3年未満の学部学生は卒業まで支給
 - ・ 博士後期課程の大学院生は課程修了まで支給（ただし、2年以上の奨学金受給予定大学院生には中間で審査を行い、標準修業年限内に博士号取得が困難と判断された場合は、奨学金の支給を通常の2年で終了することがあります）
3. 支給方法 2ヶ月に一度、2ヶ月分を本人名義の口座に振込
4. その他の支援制度

授業料補助（審査あり）	学部学生・大学院生
学会出席補助金	大学院生

【募集人数】

若干名

【応募書類】

- ・ 2023年4月に在籍・進学する大学・学年を記入してください。
- ・ 提出書類様式1～3は黒のボールペンで自筆（ひらがな可）にてしっかりと記入してください。
- ・ 成績証明書、研究計画書等を含むすべての提出書類の右上に「受付番号」を記入してください。
- ・ 合格者には応募書類原本を提出してもらいます。結果発表まで原本を保管してください。
- ・ 一貫制の博士課程は、最初の2年を修士課程、3年以降を博士課程とみなします。
- ・ 新編入・新入の学生は、合格証明書もしくは合格通知書が添付できない場合、応募できません。
※但し、既に当財団奨学生の場合に限り、入学の内定を証明できる書類可
- ・ 当財団奨学生経験者には、エッセイテーマを別に設けています。当財団ホームページ「奨学生のページ」から再応募用の様式をダウンロードしてください。

○：必須

応募書類	用紙	学部	修士	博士	備考
履歴書1	様式1	○	○	○	日本語 自筆
履歴書2	様式2	○	○	○	
エッセイ	様式3	○	○	○	日本語 自筆（所定用紙A4 2枚）
推薦状	様式4	○	○	○	・指導教員による記入 指導教員未定の場合は、その他の教員又は身元保証人等によることも可 ・英文の場合は、日本語訳を添付
評価書	様式5	—	—	○	
学業成績表		○	○	○	資料Ⅰ参照
研究実績	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料Ⅱ参照
研究計画書	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料Ⅱ参照 1枚
在学証明書 (合格証明書)		○	○	○	新入の場合は入学予定大学の「合格証明書」もしくは「合格通知書」

【応募締切】 ホームページ応募受付締切 2022年12月19日

当財団のホームページ応募フォームから必要事項を入力して「受付番号」を取得する締切日

A) 応募受付締切後、すみやかに PDF 書類の送付先 URL を留学生課に通知します。

(!重要!) 応募フォームの送信には、大学側が発行する「管理番号」が必要です。

応募を希望する人は、まず12月16日までに国際交流チームへメールで連絡をしてください。

B) 書類提出締切 2022年12月22日 ※書類不備、期限を過ぎての提出は受付不可※

PDF化した申請書類を国際交流チームへ提出する締切日

【応募方法と応募の流れ】 応募に関する FAQ は当財団のホームページに掲載しています。

- ① ホームページから募集要項をダウンロード
- ② 進学先大学の留学生課から応募の承諾を得て管理番号を取得。進学先大学による手続きが不可能な場合は、2022年12月時点の在籍校（日本国内に限る）を窓口としての応募も可
- ③ 指導教員に管理番号を伝え推薦状を依頼
- ④ ホームページの応募フォームに必要事項を入力し「受付番号」を取得
- ⑤ 提出書類を作成し、以下の設定でスキャンし PDF 化

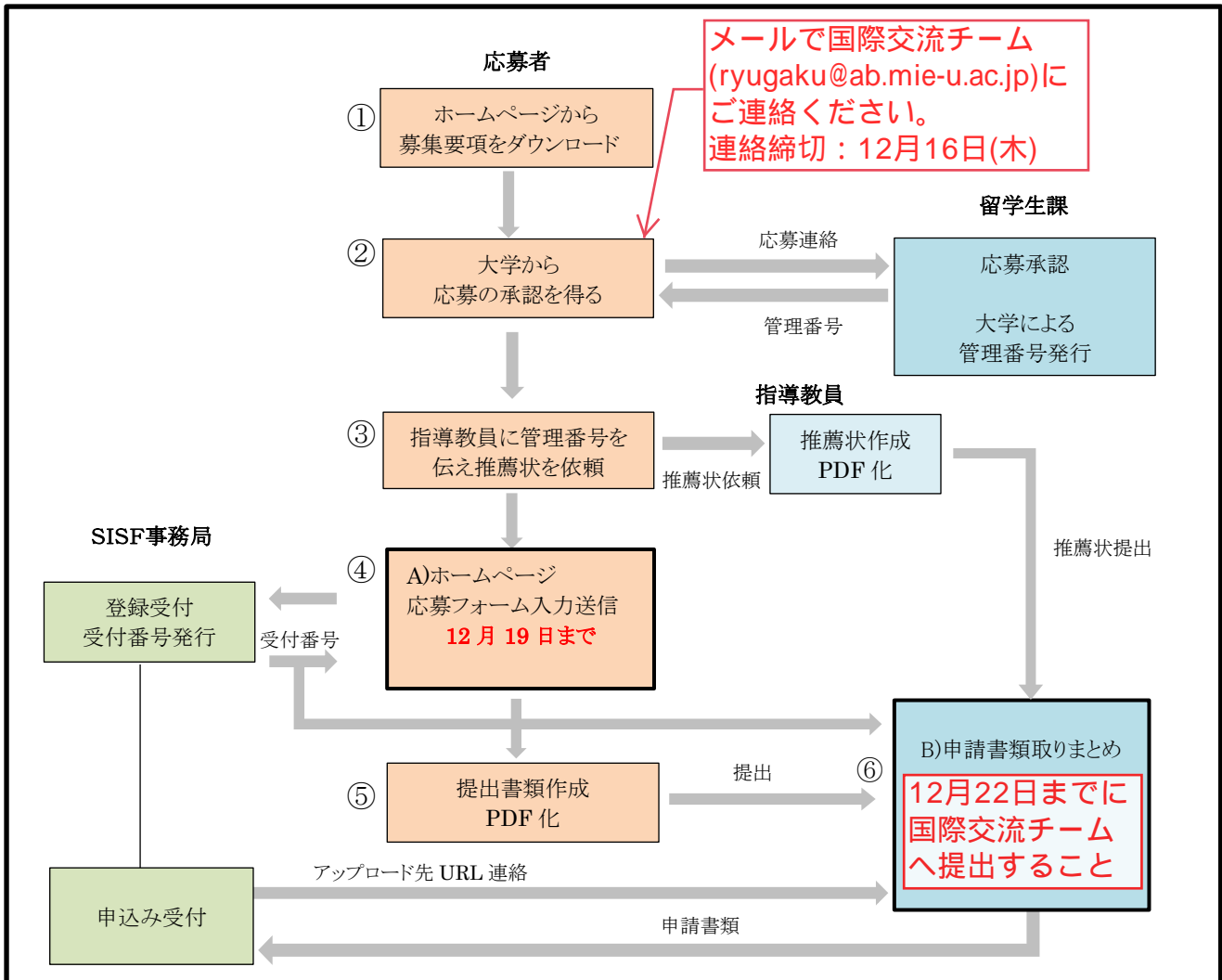
※自身でPDF化ができない人は、早めに国際交流チームへ相談してください。

解像度：300dpi

履歴書1はカラー、その他のページは白黒

- ⑥ 留学生課にて提出書類を取りまとめアップロード

PDF化した後、ファイルが明瞭に判読できることを確認の上、送信してください。



自身でPDF化ができない人は、早めに国際交流チームへ相談してください。

【選考及び結果発表】

一次 書面選考

二次 面接選考 2023年2月18日又は2月19日

- ・ 出席必須 東京で開催します。
- ・ 面接は日本語で行います。(面接時に必ず日本にいること)
- ・ 二次選考の要領は二次選考対象者及び申請窓口大学にメールにて連絡します。

合格発表 下記日時に当財団のホームページ(日本語サイト)で合格者の受付番号を発表します。

一次選考： 2023年2月10日までに発表

二次選考： 2023年2月24日までに発表

疫病や自然災害等で面接選考ができない場合は、オンライン及び書面により選考し、合格発表日を延期することがあります。その場合は、面接選考日の2日前までに大学の留学生課宛に通知するとともにその後の措置を財団ホームページに掲載しますので、応募者は必ず財団ホームページにて最新情報を確認してください。

※合格した学生は、2023年4月の認証式への出席が必須です。

【留意事項】

- ・ 当財団では、奨学生として守るべき「奨学生規則」を定めています。この規則に違反した場合、奨学金の停止や奨学生資格を失うことがあります。事前にホームページで「奨学生規則」を確認し、よく理解したうえで応募してください。
- ・ 他の奨学金の採用が決定した場合、大学を通じて当財団へすみやかに連絡をお願いします。

【個人情報の保護について】

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱い、奨学生選考の目的にのみ使用します。ただし、奨学金受給状況確認のため「合格者一覧」を大学及び他の奨学団体に提供することがあります。

【問い合わせ先】

公益財団法人 佐藤陽国際奨学財団

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1 田町ステーションタワーN

TEL 03-6435-3388

URL <http://www.sisf.or.jp>

E-mail sisf@sato-global.com

学業成績表の提出について

- ・ 下表該当欄の学業成績表を提出してください。
- ・ 日本で発行される学業成績表は原本を提出してください。
- ・ 母国で発行された学業成績表には必ず「和訳」又は「英訳」の成績表を添付してください。
 翻訳成績表には必ず証明印(サイン)をつけること。翻訳成績表添付の場合、母国語の成績表は不要
- ・ 指示のない資格証明書や賞状は添付しないでください。

2023 年 4 月 在籍(進学)課程	下記に該当する 学業成績表を全て提出	説明
学部新編入生 学部学生※ (応募時に 2 年生 以上であること)	学業成績表	高校在籍期間中全ての学業成績表と在籍大学の直近まで全ての学業成績表 日本語学校に通った場合は、その成績表も添付
	日本留学試験に関する証明書	日本留学試験に関する証明書がない場合は、様式 1「提出資料の有無(日本留学試験に関する証明書)」欄の無に○印
大学院生※ (修士・博士)	学業成績表	学部1年から直近まで全ての学業成績表

※ 高等専門学校もしくは専門学校からの編入生(編入経験のある大学院生含む)は、応募課程に係わらず高等専門学校もしくは専門学校の学業成績表も提出してください。

【学業成績表への記入項目】 ※用紙の向きにご注意ください。

① 該当期

提出する学業成績表が、様式1「学歴」欄に記載されたどの期間に該当するかがわかるように、記入例を参考に学業成績表の左上にNo.を記入し、番号順に提出してください。

② 受付番号

当財団から通知された受付番号を右上に記入してください。

【記入例】

No.	期間	学校名
1	2012 年 10 月から 2015 年 9 月まで	○○高校
2	2015 年 10 月から 2016 年 9 月まで	○○日本語学校
3	2016 年 10 月から 2020 年 9 月まで	○■大学

➔

用紙縦の場合

No.2

受付番号

学業成績表

XXXXXXXXXX

XXXXXX

○○日本語学校

用紙横の場合

No.3

受付番号

学業成績表

○■大学

「研究実績」及び「研究計画書」の書き方について

「研究実績」及び「研究計画書」は、それぞれに「名前」、「受付番号」を右上に記入して提出ください。

■研究実績

- ・ 下記①～⑤に該当するものを書いてください。(何件書いても可)

①公刊論文 (レフリー付・レフリーなし)	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
②学術論文	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
③学術発表(国内)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
④学術発表(海外)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
⑤著書	題名／発表者(全員)／出版元／出版年等

※論文コード(DOI)がある場合は記載ください。

(研究実績を作成するにあたり)

- ・ 日本語、A4 サイズ(ワープロ可)
- ・ 公刊論文、学術論文、学術発表、著書、その他の分類別・年代の新しい順に記入
- ・ 著者又は発表者が複数の場合は全員の名前を掲載順通りに書き、自分の名前には下線を引いてください。口頭発表は、発表者に*を付記してください(例:*佐藤)
- ・ 公刊論文や学術発表のサマリーは添付不要
- ・ 博士号の取得の要件に該当する研究実績には「論文題名」の横に「**博士号取得要件**」と明記
- ・ ①公刊論文(レフリー付)で査読中の場合は、その旨を明記してください。
- ・ 修士に進学する学生で研究実績が無い場合は、学部課程の卒論のサマリー(A4、1枚以内に必ずまとめて下さい)も可とします。それでも実績が無い場合は、履歴書-1(様式 1)の「提出資料の有無」の「研究実績」欄内の無に○をつけてください。
- ・ 「研究実績」の末尾に、卒業論文及び修士論文のテーマを書いてください。実績がない人は、「なし」と記載して下さい(例:修士論文なし)

■研究計画書

- ・ 日本語で、研究要旨を含め **A4 用紙 1 枚**にまとめてください。(ワープロ可、図表使用可)
- ・ 専攻、研究テーマは、専門外の人にも理解できるよう、わかりやすく書いてください。